

アーカイブサミット2015 WS-1 アーカイブのつくりかた I

田中一光アーカイブ

2015年1月26日
公益財団法人DNP文化振興財団
木戸英行

今日お話しすること

1. DNP文化振興財団とは
2. 田中一光アーカイブ
3. アーカイブの目的
4. 現在の取り組み
5. 課題

DNP文化振興財団とは

大日本印刷の企業メセナ活動

本業に近いところで息長く

グラフィックデザインとグラフィックアートの普及振興

2008 財団法人DNP文化振興財団設立

2012 公益財団法人に移行



ギンザ・グラフィック・ギャラリー
1986 東京・銀座 略称ggg



dddギャラリー
1991 京都・太秦



CCGA現代グラフィックアートセンター
1995 福島・須賀川

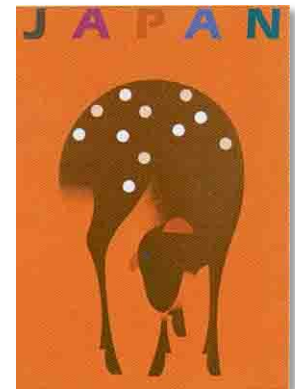
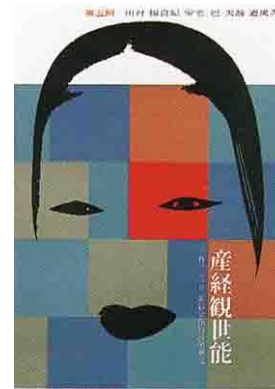
田中一光（1930-2002）

日本の戦後グラフィックデザインを代表する作家のひとり。2002年1月に急逝。

作品、版下原稿、写真、蔵書、書簡、書類、他作家作品、蒐集美術品等、（株）田中一光デザイン室、自宅、別荘等に残されていた作品・資料群。2008年に遺族より寄贈。



写真：石元泰博



規模

分類	概算	備考
ポスター作品	2,700	
ブックデザイン作品	2,600	
版画	300	
版下原稿類	600	フォルダ、ファイル・レベルのみ目録化完了
写真	18,000	目録化完了分。総量は2.5万点強になる見込み
作品複写写真	7,500	概算見積もり
他作家のポスター	1,100	
他作家のポスター以外の作品	500	
書簡・書類・手稿類	3,600	フォルダ、ファイル・レベルのみ目録化完了
蔵書	8,300	
その他	500	
合計	46,000	2014年11月現在

書架延長＝約400m ポスターキャビネット＝50段 段ボール箱＝約370個

收藏庫



資料庫



アーカイブの目的

- **戦後グラフィックデザインに関する学術研究の振興**

- 戦後デザイン史が研究対象になってきた
- 戦後デザイン史の代表作家たちが他界しつつある

- **現代グラフィックデザインの歴史資料化**

- 美術作品と異なり保存されにくい
- 記録や資料が残りにくい

- **展覧会、出版等によるグラフィックデザインの普及**

- 美術館や出版社が利用しやすい環境をつくる

現在の取り組み

1. データベース開発
2. 高精細デジタルアーカイブ
3. 写真資料デジタルアーカイブ
4. 印刷技法調査
5. 学術研究助成

● 管理系2015年中、公開系2016年中完成目標

- 現状は管理用DBシステム（非公開・内製）のみ

● 国際標準への準拠

- **ISAD(G)**
General International Standard Archival Description, 国際アーカイブズ評議会
- **Dublin Core**
ダブリン・コア・メタデータ・イニシアチブ
- **CDWA**
Categories for the Description of Works of Art, ポール・ゲッティ・トラスト

● 他機関へのデータ提供と情報共有の実現

- EAD (Encoded Archival Description)など、アーカイブ資料記述標準形式データ出力APIの実装

データベース開発② 非公開の現行DB

田中一光アーカイブDB 資料リスト

検索 ソート 一括処理 新規登録 削除 ダウンロード カテゴリー別集計 印刷 照会履歴 メニュー 終了

総数: 49361 選択数: 2625 表示中: 101番 - 150番 表示件数: 50 変更

ID	カテ1	カテ2	タイトル	制作者	担当者	発行者	年	判型	サイズ(mm)	収蔵庫	レゾネ	画像
04238	作品	書籍	JAPAN PRINT '91	AD=田中一光、D=橋本和典		大日本印刷	1991		250×258×9	3-1-7	B615	
						ブックデザイン=秋田寛	1990		305×238×12	3-1-5	B268	
						マツダ	1984		280×220×6	3-2-2	B201	
						講談社	1979		303×210×15	3-1-7	B142	
						白水社	1980		200×145×1233-2-5		B144	
						話の特集	1976		188×130×17	3-2-5	B113	
						白金書房	1974		185×130×13	3-2-4	B093	
						白金書房	1974		185×130×13	3-2-4	B093	
						番町書房	1973		193×122×17	3-2-3	B080	
						《東京の夏》音楽祭実行委員	1999		298×210×6	3-20-3		

田中一光アーカイブDB 資料単票

検索 ソート 新規登録 コピー 編集 削除 ダウンロード カテゴリー別集計 印刷 照会履歴 リスト表示 メニュー 終了

総数: 49361 選択数: 2 表示中: 1番

汎用チェックボックス ☐

ID 01836

カテゴリ 1: 作品 2: ポスター

タイトル 第8回産経観世能

英文タイトル The 8th Sankei Kanze Noh Performance

制作者 D=田中一光

担当者

発行者 産経新聞社、大阪新聞社

制作年 1961

技法素材 シルクスクリーン

サイズ 判型: B1 寸法: 1030×728×0 mm

備考 「田中一光回顧展: われらデザインの時代」(東京都現代美術館, 2003年)出品作品
収蔵2点の内1点はボード貼り

印刷情報

親レコードID

保存ユニット

点数 2

レゾネ番号 P0068

入手分類 寄贈

保管場所 OCGA

収蔵庫番号 2-22-6

寄贈セット1/1
寄贈セット2/1

データベース開発③ 美術作品の分類手法: CDWAの場合

CDWA (Categories for the Description of Works of Art), ポール・ゲッティ・トラスト

FOR THE OBJECT, ARCHITECTURE, OR GROUP

Catalog Level	目録レベル
Object/Work Type	種類
Classification Term	分類
Title or Name	タイトル
Measurements Description	寸法
Materials and Techniques Description	技法素材
Creator Description	作者
Creator Identity	作者素性
Creator Role	作者役割
Creation Date	制作
Subject Matter	主題
Current Location Repository Name/Geographic Location	
Current Repository Numbers	保管場所

FOR RELATED TEXTUAL REFERENCES AUTHORITY

Brief Citation	来歴
Full Citation	来歴詳細

FOR CREATOR IDENTIFICATION AUTHORITY

Name	作者名
Source	作者名の典拠
Display Biography	略歴
Birth Date	生年
Death Date	没年
Nationality/Culture/Race	国籍
Life Role	職業

FOR PLACE/LOCATION AUTHORITY

Place Name	地名
Source	場所の典拠
Place Type	場所の種類
Broader Context	場所のより広範な背景

FOR GENERIC CONCEPT AUTHORITY

Term	概念の用語
Source	概念の典拠
Broader Context	概念のより広範な背景
Scope Note	概念の範囲の注釈
Source	概念の範囲の典拠

FOR SUBJECT AUTHORITY

Subject Name	主題
Source	主題の典拠
Broader Context	主題のより広範な背景

●作品を個別に登録

- 資料情報を基本的に単一レベルで記述
- RDBのテーブルは最低1個あればよい

●記述要素は、作者、作品名、制作年、分類、主題など。

- CDWAのような国際標準も存在

●作品以外の資料を扱えない

- 書類、原稿、書簡、写真など
- 複数の品で構成される資料

●資料体を階層構造で把握

- 上位から下位に、フォンド 〃 シリーズ 〃 フォルダ 〃 アイテム
- 古文書や公文書の整理分類に適している

●マルチレベル記述

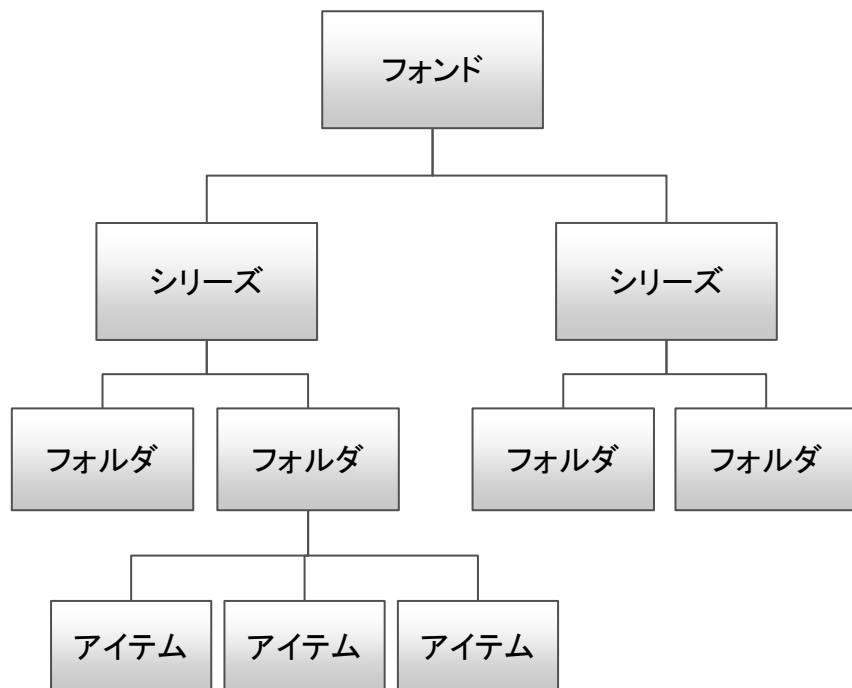
- 各階層で共通の要素（メタデータ）を再帰的に記述
- ISAD(G) 国際アーカイブズ評議会「国際標準：記録史料記述の一般規則」

●文書対象だが、美術作品などにも適用可能

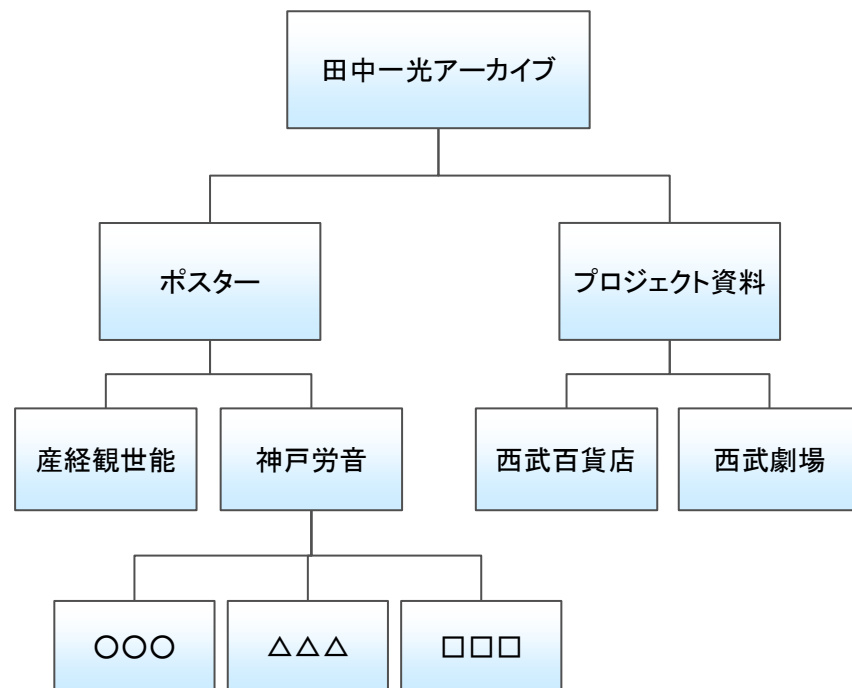
- 複数の品で構成される資料（ファイルやアルバム）をうまく扱える

データベース開発⑥ 階層構造イメージ

ISAD(G) 階層構造



田中一光アーカイブのイメージ



● オフセット印刷物のデジタルアーカイブ

- 画像データ仕様策定：原寸400～1200dpi／16bitカラー／TIFF
- カラー・マネージメント・システムの確立

● 専用撮影装置開発

- バキューム吸着式撮影台
- 自動分割撮影機能
- 自動結合ソフト
- Phase One IQ180（8000万画素）

写真資料の長期保存のための施策

- ネガ・ポジ、紙焼き、最終的には3万点超の見込み
- ビネガーシンドローム劣化対策
- データベース登録による閲覧性、検索性向上
- 現物はアーカイバル包装後、専用ボックスで別保管



ポスター作品約2,700点が対象

- 版式、色数、版数、用紙（銘柄、坪量、厚さ）の特定と記録
- DNP製版技術者OB社員と（株）竹尾OB社員の協力



グラフィック文化に関する学術研究助成

- 2014年度より開始
- A部門（自由）
B部門（田中一光研究）
- 年間50万円／件
2年まで継続可
- 初年度は国内外から66件応募
A部門 8 件、B部門 4 件
計12件採択
- 詳細
<http://www.dnp.co.jp/foundation/grants/>



● 作品基本情報調査の困難さ

- 作家や出版者が記録を残さない
- 調査研究の人員と時間不足
現在は学芸員2名、パートタイム職員1名で担当

● 美術史の用語や概念がデザインに適用可能か？

- コミッションワークとノン・コミッション作品の混在
- 社会的ポスターと芸術的ポスター

● 他機関との連携

- 所蔵資料公開
- 作品基本情報共有
- データベース連携

ご清聴ありがとうございました。